

# 開放特許ライセンス契約締結

瀬戸信用金庫は11日、昨年11月に開催した「知財活用ビジネスマッチング交流会」を通じて、富士通(本社東京)と木村台紙(本社名古屋市千種区)が開放特許ライセンス契約を締結したと発表した。木村台紙は、台紙や写真などに富士通の写真・印刷画像のコード埋め込み技術を活用。スマートフォンで読み取って動画や音声が再生できる商品を開発し、イベントなどを売り込む方針だ。

同交流会での契約締結は、昨年10月のオフィス機器大手のイトーキ(本社大阪市)と金属加工業

瀬戸信用金庫は11日、昨年11月に開催した「知財活用ビジネスマッチング交流会」を通じて、富士通(本社東京)と木村台紙(本社名古屋市千種区)が開放特許ライセンス契約を締結したと発表した。木村台紙は、台紙や写真などを富士通の写真などに富士通の写真などを埋め込み、スマートフォンで読み取ると、動画や音声などが再生できる。木村台紙の開発した商品は、命名台紙や結婚誓約書などの写真にコードを埋め込み、スマートフォンで読み取ると専用アプリケーションを通じて動画などを再生する。再生専用アプリは、ケーシーエス(本社茨城県)が開発した。

## 富士通と木村台紙

の大塚製作所(本社名古屋市)に次いで2件目。

今回の富士通の技術は、2010年に特許を出願。透かし技術で写真に埋め込んだ情報コード

を読み取ると、動画や音声などが再生できる。木村台紙の開発した商品は、命名台紙や結婚誓約書などの写真にコードを埋め込み、スマートフォンで読み取ると専用アプリケーションを通じて動画などを再生する。再生専用アプリは、ケーシーエス(本社茨城県)が開発した。

# 瀬戸信金の動画、音声再生商品を開発

瀬戸信金の動画、音声再生商品を開発のため、名古屋市熱田区の同金庫名古屋研修センターで締結式が行われた。木村台紙の木村徹社長は「愛知県は開拓への役割を当金庫が担い、今年中に1~2件の契約締結を期待した」と話した。(瀬戸)



締結式で右から水野理事長、西田部長、木村社長、瀬戸信金の木村社長は「愛知県は開拓への役割を当金庫が担い、今年中に1~2件の契約締結を期待した」と話した。(瀬戸)